

# 「子どもを伸ばすための指導力向上セミナー」

## ～磨こう、コミュニケーション力！輝け、子ども達！～

### ★事業の概要★

#### 事業のねらい

教職員をはじめとする青少年教育指導者や指導者を志す学生が、教育コーチングをもとに、子どもとの望ましい人間関係づくりを目指して具体的な行動目標をたて、実践に向けて意欲を高めることを図る。

#### 期 日

平成23年2月11日（金）～13日（日） <2泊3日>

#### 会 場

国立大雪青少年交流の家

#### 対 象 者

教員、青少年教育施設職員、市町村教育委員会職員、青少年教育の指導者を志す者

#### 参加者数：参加募集人数

15名  
(内訳：教員7人、大学生3人、教育関係者5人)

#### 講 師

神谷和宏氏（国際コーチ連盟コーチ 人材開発コーチング協会理事）  
国立大雪青少年交流の家職員

#### 日 程

	7:15 7:30 9:00		12:00 13:30		14:00 14:30			16:30 17:00 17:30 19:00			21:00		22:00	
2/11 (金)					受付	開会式	①グループワーク1	休憩	つどい	夕食・休憩	②講義・演習1	入浴	休憩	
2/12 (土)	つどい	朝食	③講義・演習2	昼食・休憩	④講義・演習3	休憩	つどい	夕食・休憩	⑤グループワーク2	入浴	休憩			
2/13 (日)	つどい	朝食	⑥まとめ	閉会式	解散									

# ★プログラム紹介★



## ①「グループワーク1」

子どもとの関わりの中で、参加者各自が身近に感じている課題をもとに、グループの課題を決めました。



## ②「講義・演習1」

教育コーチングの意味を理解しながら、前向きな言葉によって、心身共に元気になることを実体験から学びました。



## ③「講義・演習2」

良好なコミュニケーションのとり方、特に相手を褒める時の声かけの方法について、具体的な言葉から学びました。



## ④「講義・演習3」

自己実現できる目標のたて方の留意点について、教育コーチングの手法から学びました。



## ⑤「グループワーク2」

「グループワーク1」で設定した課題について、教育コーチングの手法を踏まえながら具体的な解決策を考えました。



## ⑥「まとめ」

「グループワーク2」で考えた解決策をグループごとに発表し、それぞれの教育現場での実践に向けて意欲を高めました。

## 企画・運営のポイント

- ① 参加者が教育コーチングの手法を踏まえて、自分達で考えた課題を自分達の手で解決するようにプログラムを構成した。
- ② コミュニケーション能力の向上については、教育現場でも大きな課題となっている。セミナーの中で、参加者同士がコミュニケーションを多くとれるよう、グループやペアでの話し合いの場を多く設定した。
- ③ 参加者がグループでの発表終了後、実践に向けて具体的な指導に生かせるよう講師から多くのアドバイスを聞ける場を設定した。

## 事業を終えて(成果と課題)

- ① 教育コーチングを学び、良好なコミュニケーションのとり方を理解することで、子どもとの人間関係を構築するスキルを身につけることができた。
- ② 教育コーチングの中で、参加者が自分の目標の作り方を理解し、達成に向けて意欲を高めることができた。
- ③ 参加者が抱える課題の解決へ向けて、教育コーチングから具体的な手法を多く学ぶことが重要であるため、講師の講義・演習の時間を増やす必要がある。

## 今後の方向性

教員や青少年教育指導者が、教育コーチングをはじめとする青少年教育に必要な指導技術を学ぶことができるよう、指導者養成の事業を今後も実施していく。